

ちょうせんせんそう そ し あ べ だ とう
朝鮮戦争阻止・安倍打倒

いちろく しゅんとう たたか
16 春闘をストライキで闘おう

は けんほうてつぱい そう ひ せい き か そ し めい さいよう しんこくてつしよめい
派遣法撤廃・総非正規化阻止と 1047 名の JR 採用へ新国鉄署名を

きたちょうせん しゅぎ かくじっけん がつなぬ か ちょうきより だんどう ほっしやじっけん
北朝鮮スターリン主義の核実験と 2 月 7 日の長距離弾道ミサイルの発射実験

ぎやく え じ き べい に ち かん ぐん じ たい せい かくりんせんたいせい きょう か
を逆に餌食（えじき）として、米日韓の軍事体制・核臨戦態勢が強化され、

ちょうせんしんりやくせんそう き き ちょうせつぱく こっかい あ べ いなだともみ けんぼう じょう
朝鮮侵略戦争危機が超切迫している。国会では安倍や稲田朋美が憲法 9 条 2

こう かいけんはつげん こうぜん おこな ちょうせんせんそう そ し あ べ だ とう たたか あ べ
項の改憲発言を公然と行っている。朝鮮戦争阻止・安倍打倒へ闘おう。安倍

せいけん せ かいだいきょうこう にっていけいざい はめつ ぜんだい み もん きんり うった
政権は世界大恐慌と日帝経済の破滅にあえぎ、前代未聞のマイナス金利に訴え、

きょうぼう か あ べ こうげき ま こう たいけつ
グラグラとなりながら凶暴化している。この安倍の攻撃と真っ向から対決して

こくてつしゅうかい いちろく しゅんとう がつこくてつげせん ひ き
2・14 国鉄集会がかちとられ、16 春闘と 2～3 月国鉄決戦の火ぶたが切られ

かい こてつかい しんしよめい しょくぼ はい どうろうそうれんごうけんせつ すす
た。解雇撤回の新署名をもって職場に入り、動労総連合建設へ進もう。さらに

はんげんばつふくしまこうどう こおりやま た
3・11 反原発福島行動（郡山）に立とう。

ちやくせつ かい こてつかい さいよう ようきゅう うんどう
JR に直接に解雇撤回と採用を要求する運動

わたし こくてつ めいかい こてつかい む あら しょめいうんどう
「私たちは、国鉄 1047 名解雇撤回に向けた新たな署名運動をはじめます。

たい ちやくせつ かい こてつかい さいよう ようきゅう しょめいうんどう よ ぶん
JR に対して直接、解雇撤回と採用を要求する署名運動です」（呼びかけ文）。

しんしよめいうんどう どうろう ち ぼ せんとう こくてつぶんかつ みんえい か ねんかん たたか
この新署名運動こそ、動労千葉を先頭とする国鉄分割・民営化との 30 年間の闘

あら だいはんてんこうせい
いの新たな大反転攻勢だ。

さくねん さいこうさいけつてい さいようこう ほ しゃめい ぼ ふ とうろうどうこうい い し
昨年の 6・30 最高裁決定は、採用候補者名簿が「不当労働行為意思」のもとに

さくせい めいかく にんてい さいばんしょ ていしゆつ しんしよこう
作成されたことを明確に認定した。さらに裁判所に提出された新証拠である

こくてつかいかくぜんご ろう む せいさく うちまく い だまさたか どう じ さいけんじつ しすいしんほん ぶ じ む
『国鉄改革前後の労務政策の内幕』（井手正敬＝当時の再建実施推進本部事務

局長きょくちょうで後の J R 西日本社長・会長にしにほんしゃちょう かいちょう）は、名簿作成の指示めいぼさくせい しじを出したのは J R 設立委員長の斎藤英四郎・経団連会長りついいんちょう さいとうえいしろう けいだんれんかいちょうだったことも明らかにした。国鉄改革法 23 条 5 項でさえ J R 設立委員が行った行為は J R が継承すると明記している。

29 年前の 1987 年 2 月 16 日、7628 人の国鉄労働者に不採用通知が出され、彼らは全国 131 カ所に設置された国鉄清算事業団雇用対策支所に送られた。さらに 90 年 4 月 1 日、清算事業団から 1047 名の国鉄労働者が解雇された。動労千葉の闘いは、動労千葉争議団だけではなく、この 1047 名の解雇のすべてが不当労働行為だったと暴き出し、最高裁でそれを確定させたのだ。

2010 年の 4・9 政治和解も「不当労働行為や雇用の存在を二度と争わない」との念書を書かせたこと自体が不当労働行為だったのであり、最高裁決定はこの不法な念書も無効だと確定させたに等しい。00 年 4 党合意を進めた者こそ甘利明であり、その甘利はすでに打倒された。さらにこの甘利と一緒に、1047 名闘争を解体しようとした国労本部や日本共産党も完全に同罪だ。

だが最高裁決定はまだ勝利の第一歩である。この決定を J R 各社に実行させる解雇撤回・原職復帰の闘いとそのための新署名運動を開始し解雇者を直ちに採用させよう。

そして新署名運動で職場に労働組合の旗を立てよう。何よりも動労総連合を全国に建設しよう。1047 名とその家族の怒りと悔しさ、青年労働者の怒りと悔しさを、逆に未来を開くエネルギーに変える決定的な闘いこそ、動労総連合建設だ。それは貧困と闘い、命と生活を守り、戦争を阻止する闘いだ。

動労水戸は 11 年 3・11 以降だけで 16 波のストで情勢をつくってきた。原発労働者、除染労働者、交通運輸労働者、医療労働者、そして地域そのものを組織してきた。動労水戸のライフサイクル阻止の 1・29 第 3 波ストこそ 16 春闘の

とっばこう
突破口だ。

かるいざわ じこ しやうたい
軽井沢スキーバス事故がアベノミクスの正体

がつ にち じこ ふたり うんてんしゆ にん がくせい いのち うば
1 月 18 日のスキーバス事故で、2 人の運転手と 13 人の学生の命が奪われた。

ねんきんじゆきゆうねんれい さい うんてんしゆ ふな おおがた し お こ いたい
年金受給年齢の 65 歳の運転手が不慣れな大型バスで死に追い込まれた。遺体の
ひくとて しやうたい
引き取り手もない。これこそ「アベノミクス」の正体だ。

ろうどうしゃ ひっし あんぜん かくほ がんば ちやうていちんぎん とつぜん きゆうじつへん
労働者は必死で安全を確保しようと頑張っている。超低賃金や突然の休日返
じやう うんこうし じ いちにち じかんろうどう にちれんぞくきん む どうりやう たいちやう き
上の運行指示、1 日 16 時間労働・11 日連続勤務にも、同僚の体調を気づかい
かつ、「過労死部屋」と言われる仮眠室で休み、自腹で買ったドリンク剤と目薬
めさき にぎ
で目を覚ましてハンドルを握っている。

がいちゆうか ひせいきしよくか ちんぎん ろうどうじやうけん はかい どうじ ろうどうしゃ ほこ
外注化・非正規職化は、賃金や労働条件を破壊すると同時に、労働者から誇
きやうどうせい うば しほん ろうどうしゃ しはい う やぶ はけん
りと協働性を奪う。資本はそれで労働者を支配する。これを打ち破るのが派遣
ほうはいし ひせいきしよくてつぱい たたか
法廃止・非正規職撤廃の闘いだ。

こくてつぶんかつ みんえいか きやうこうご どうろうちば せんとう ぜんかいきゆうてきたたか つづ
国鉄分割・民営化の強行後も動労千葉を先頭とした全階級的闘いが続けら
れたため、雇用と賃金の破壊は簡単にはいかなかった。1985 年の派遣法（13
ぎやうむ たいしやう だんじよ こやうきかいきんとうほう せいりつ ねんひらいわ きせいかんわ
業務が対象）と男女雇用機会均等法の成立、93 年平岩レポートでの規制緩和の
ようきゆう ねんにつけいれん ほうこく わりひせいきか ていげん ねん はけん
要求、95 年日経連プロジェクト報告での 9 割非正規化の提言。そして 96 年に派遣
ぎやうむ かくだい ねんだいかいあく はけんぎやうむ げんそくじゆう きんしぎやうむ
は 26 業務に拡大され、99 年大改悪で派遣業務が原則自由になり（禁止業務の
してい いご ねん せいぞうぎやうむ かいきん ねん はけんう い きかんえんちやう ねん かいあく
み指定）、以後 04 年（製造業務解禁）、06 年（派遣受け入れ期間延長）、12 年と改悪
つづ
が続いた。

ねん だいかいあく はけん ねん いじょうはたら じぎやうしよがわ ちよく
さらに 15 年の大改悪では、それまで派遣で 3 年以上働くと事業所側が直
せつこやうか ぎやく ねん かなら かいこ しく
接雇用に変えなければならなかったものが、逆に 3 年で必ず解雇される仕組み

にされた。まさに全員が生涯派遣を強制される。こんな反労働者的、非人間的なことは、闘えば必ずぶっ飛ばせる！

この社会をつくり、社会を規定しているのは労働である。労働者と資本家の力関係で社会は動き物事は決まっていく。1945年の敗戦の夏から直ちに開始された労働現場での生産管理と賃金・生活物資要求が、12月には労働組合法の制定をブルジョアジーに強制し、戦後革命を切り開いた。47年5月の憲法施行も、その土台には3月の教育基本法、4月の労働基準法の制定があった。

憲法 27 条の労働権を担保するため 47 年 11 月に職業安定法が施行された。安全や労働条件を守る責任が使用者にあると確定するためだ。派遣法はこの職安法にも反する例外にすぎない。

東京地裁 98 年 5 ・ 28 反動判決は国労を敗北主義に突き落とし、JR は 2000 年にシニア協定とメンテナンス外注化の攻撃に出てきた。これは派遣法よりさらに極悪で違法な偽装請負そのものだ。しかし国労本部が闘いを放棄し受け入れたため全社会に広がった。軽井沢スキーバス事故につながった旅行会社とバス運行会社の規制緩和は、この時期（00 年と 02 年）に強行されたのだ。

動労千葉だけがこれと闘った。シニア協定を拒否し、32 人の再雇用拒否と 19 人の組合脱退という壮絶な闘いで「外注化を認めたら安全は崩壊し、子や孫の代はすべて非正規になる」という階級の利害を貫き、JR に破産を強制し、組合の団結を固めた。青年労働者や非正規労働者の現実に向き合い、反合理化・運転保安闘争を闘い、非正規職撤廃を階級的労働運動の核心として打ち立てた。

3 ・ 26 JR ダイヤ改悪攻撃と闘い、派遣法廃止・非正規職撤廃へ 16 春闘に決起しよう！

あべ くろだ きんり どうにゆう けいざいはめつ
 安倍・黒田のマイナス金利導入で経済破滅へ

とうしょう がつ とお か おわり ね さくねんまつ だいのうかい えん い じょう ぼうらく あべ
 東証の2月10日の終値は昨年末の大納会から3300円以上も暴落、安倍
 くろだ かぶだか えんやす ねら きんり どうにゆう ぎやく かぶぼうらく
 と黒田の「株高・円安」を狙ったはずの「マイナス金利」導入が、逆に株暴落
 えんだか かそく だいきょうこう ぜんめんげきか あべ くろだ にほんけいざい きんゆう
 と円高を加速している。大恐慌の全面激化のもと、安倍と黒田は日本経済と金融
 はめつ こ
 を破滅へたたき込んでいる。

せいふ がくせい こくみんねんきん ほけんりょう まいつき まん えん と ろうどうしゃ こうせいねん
 政府は学生から国民年金保険料を毎月1万6260円取り、労働者の厚生年
 きん ほけんりょう げつしゅう まんえん まん えん ちょうしゅう かぶ
 金保険料は月収24万円で2万1363円も徴収している。それを株でリス
 うんよう ねんきんつみたてきんかん り うんようどくりつぎょうせいほうじん そんしつ かん ぼうらく
 ク運用する年金積立金管理運用独立行政法人(GPIF)の損失は、この間の暴落
 じゅうすうちょうえん たつ
 で十数兆円に達しているはずだ。

ろうどうしゃかいきゅうじんみん ひびはげ いか がつ かだい いか かたち
 労働者階級人民は日々激しく怒っている。2～3月の課題はこの怒りに形を
 あた だれ み かたち だんけつ そしき こくてつ ごうどうろうそ
 与え、誰にも見える形で団結を組織することだ。それはすでに国鉄と合同労組
 じっせん ゆうせい じちたい きょうろうしよくば せんくてき はじ しゅんとうようきゅう
 の実践、郵政・自治体・教労職場で先駆的に始まっている。それを春闘要求
 ほうしん ね あ
 とスト方針へ練り上げよう。

ひ ば かんこく みるしゅうろうそう い いんちょう せんとうてきじっせん
 ゼネストを引っ張る韓国・民主労総のハンサンギョン委員長の戦闘的实践に
 まな にほん ち れんたい ちょうせん こくさいれんたい だれ
 学び、日本の地で連帯とともに挑戦することこそ国際連帯だ。その誰もがやれ
 すいろ しんこくてつしよめい
 る水路が新国鉄署名だ。

ほしの ふみあき がつ さい ほしの かいほう にんげんかいほう
 星野文昭さんは4月に70歳になる。星野解放は人間解放そのものだ。2・19
 とくしまけい む しょうとうそう た めんかい しょうぐうかいぜん ようきゅう
 徳島刑務所闘争に立ち、面会と処遇改善の要求をつきつけよう。

せんそう ち あんだんあつ たたか いせしま ふんさい がつおきなわとうそう ぜんこくがくせいはんせん
 戦争・治安弾圧と闘い伊勢志摩サミット粉砕の5月沖縄闘争と全国学生反戦
 がつせんきょけつせん しょうり ぜんりよく たたか
 スト、7月選挙決戦の勝利へ全力で闘おう。